

# スクラム



日光市立今市第三小学校 第6学年 学年通信『第25号』 平成26年2月24日

## 卒業までのカウントダウン

例年になく大雪でした。子どもの頃は、雪が降るのが待ち遠しく雪合戦や鎌倉づくり、雪上サッカーなどで遊んだものです。しかし、大人になり出かける事情などがある場合、大雪には大変困ります。特に今回の大雪は水分をたくさん含んでいるのか、とても重く家にあったプラスチック製の雪かきが破損するなど雪かきに難儀しました。

ところで、先日行った「命の授業」には、21名の保護者の皆様にご参加いただきありがとうございます。ありがとうございました。

## 中学校へ向けて～その2

同じ学校の教師ですが、小学校の教師と中学校の教師とでは、子どもに対するリーダー観がだいぶ違ってきます。小学校では、「先生の話すことを素直に聞き、それを広めていく指導力」をリーダーに期待する面がありますが、中学校では「自ら考え、集団を前向きに導く指導力」をリーダーに期待します。

どちらも集団をよい方向に導く指導力を期待しているのですが、発達段階からくる子ども像に違いがあるため、期待する子ども観にも違いが生じてくるのです。

### 〔 学 習 面 〕

- 1 家庭で取り組める力**  
長い範囲のテスト。小学校と同じやり方では、対応できません。繰り返し繰り返し、家庭で学習できる自分が必要です。
- 2 教科書を活用できる力**  
予習と復習には、教科書が欠かせません。自分で読まなくてはなりません。教科書を上手く活用できる自分が必要です。
- 3 ノートを作れる力**  
写しただけで使わないノートは無駄です。板書に自分のメモを入れたりして、わかるノートに変身させられる自分が必要です。
- 4 疑問を解決する力**  
そのままにしておく、次から次へと新しいことが出てきます。小学校よりも学習が速く進みます。分からないことをすぐに質問できる自分が必要です。
- 5 得意分野を持つ力**  
いくら勉強してもできないものもあります。でも、これだけは自慢できる、自信がある、という得意分野を持っている自分が必要です。

## 先生の赤ちゃん日記

※これは、長男が生まれた20年前に書いた学級便りです。

### 1993年8月23日(月)

- 7:30 朝から軽い陣痛あり。病院へと急ぐ。
- 11:00 「まだ生まれませんね。もうちょっと痛くなったらまたおいで！」と言われ自宅へ帰る。
- 12:30 陣痛が激しくなり、また病院へ。
- 12:45 入院。何をどうしてよいのか分からず、途方に暮れる。初孫のためか、父だけが興奮していた。
- 13:30 一旦学校へ。経過報告と補教の準備。
- 16:30 病院へ戻る。手持ちぶさた、ただ励ます。
- 17:00 引き続き病院。あっ！男の子の名前は考えたけど、女の子の名前をまだ決めていなかった。考える。
- 21:40 夕食もとらずまだ病院。「この分だと、今日は生まれませんね。多分明日の午後じゃないかしら。男の人がいてもなんの役にも立たないんだからそろそろお帰りなさい」と言われてしまう。
- 21:50 帰宅。夕食もあまり喉を通らず、布団に入るもののなかなか寝られない。悶々と時を過ごす。

### 8月24日(火)

- 5:00 「男子出産」の報が入る。眠気がふっとび、さっそく病院へ。
- 6:00 御対面。ドキドキした。首筋に汗が出た。カミさんは泣いている。抱いた腕に力が入る。顔を見た。「オレにそっくりだ」嬉しい。

1993年8月24日(火)午前4時44分。

体長約50cm、体重3174g。

平和を愛し、運動や勉強で優秀な成績を修められるようにと、「修平」と名付けました。

